

Movements for the Internet Active Users  
一般社団法人インターネットユーザー協会

# インターネットと著作権をめぐる議論 2016 Summer

2016.8.4@第6回日本インターネットガバナンス会議

MIAU事務局長 香月啓佑



この文書は クリエイティブ・コモンズ 表示 3.0 非移植 ライセンスの下に提供されています  
<https://creativecommons.org/licenses/by/3.0/deed.ja>

## MIAUについて

一般社団法人インターネットユーザー協会

**M**ovements for the **I**nternet **A**ctive **U**sers

2007年から活動を開始。現在9年目に突入

日本におけるDigital Rightsに関するユーザー団体

「利用者がより創造的に活動でき、そして技術自身が発展できるような環境」

「既存のシステムを守るための制度が、技術の発展を制限しない環境」

をめざす

代表理事：津田大介（ジャーナリスト）、小寺信良（コラムニスト）

理事：庄司昌彦（国際大学GLOCOM准教授）

# IGCJとMIAUの活動のスコープ

分野	課題	課題の具体例
体制	インターネットガバナンスの体制論	ICANN 及び各資源管理団体の在り方、NETmundial の体制確立、IGF の動向
	国家のIGに対する関与のあり方、 国家間情勢	拡大協力(Enhanced Cooperation)
技術	技術規格	技術規格策定に関するもの(例:ある国による一方的な誘導)
	セキュリティ技術	サイバー攻撃防御、ネット基盤脆弱性の回避、フィッシング対応、 ルーティングセキュリティの導入
	迷惑(Abuse)行為対策	迷惑メール対応
ネットワーク運営	運用のコーディネーション	NOGsが取り組む、インターネット全体の経路制御など協調運用
	相互接続	事業者間の接続料金精算、地域IX、途上国IXの設置
	資源管理	ドメイン名(ccTLD, gTLD)/IPアドレス/プロトコルパラメータ管理に関するポリシー、 IPv4アドレス枯渇
ネットワーク政策	ネット中立性	基盤プロバイダー vs. コンテンツプロバイダー(特に費用負担) 圧倒的多数の利用者 vs. 少数のヘビーユーザー 帯域の制約 vs. 利用者の自由
	インターネットアクセスに関する政策	僻地/途上国におけるインターネットアクセスの提供、ユニバーサルサービス
利用者	セキュリティ	不正アクセスによる資産の盗用、毀損
	オンラインアイデンティティ	アイデンティティの電子的盗用
	人権	児童ポルノ、表現の自由、通信の秘密など
	プライバシー	利用者のプライバシー侵害防止、越境データの国際的な保護、 サービス向上との兼ね合い
	政府機関による広範な監視	国防とプライバシーのバランス
コンテンツ	知的財産権(著作権)	規制 vs. 新ビジネスおよびユーザーの利便性との兼ね合い 権利者 vs. サービス提供者およびユーザーの便益
振興	教育	
	経済成長・持続的開発	
	途上国支援	

**今日のキーワード**

**クラウドサービスと私的複製**

**私的複製と補償金**

**権利制限の一般規定(フェアユース)**

**リーチサイトテイクダウン**

**著作権侵害サイトのブロッキング**

# 文化庁における著作権法制に関する議論のプラットフォーム

文化審議会

内閣官房 知的財産推進本部

著作権分科会

法制・基本問題小委員会

新たな時代のニーズに的確に対応した  
制度等の整備に関するワーキングチーム

国際小委員会

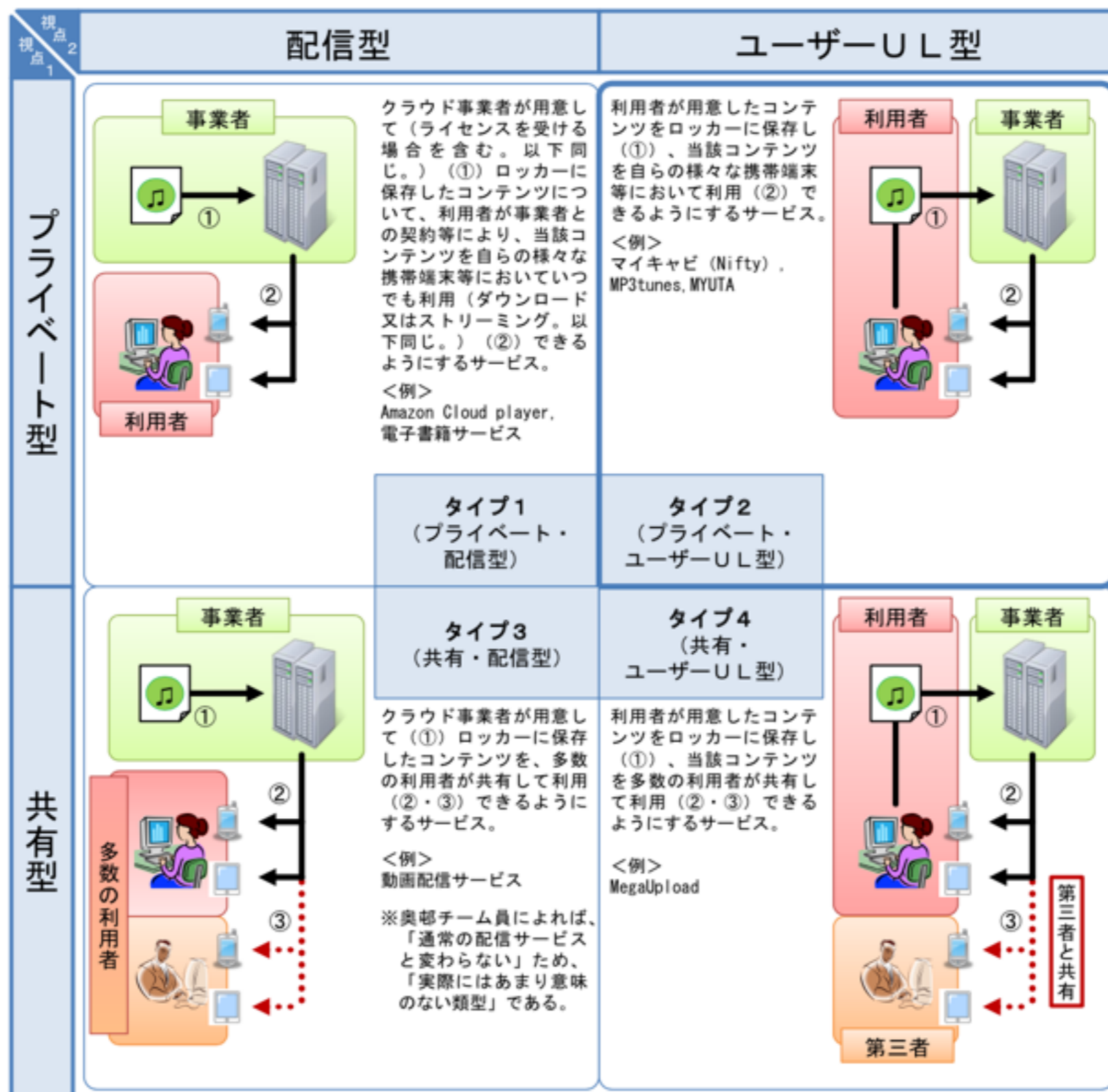
著作物等の適切な保護と利用・流通に関する小委員会  
(通称「クラウド小委員会 保護利用小委員会」)

「クラウドサービス等と著作権及び  
クリエイターへの適切な対価還元等に関すること」を議論

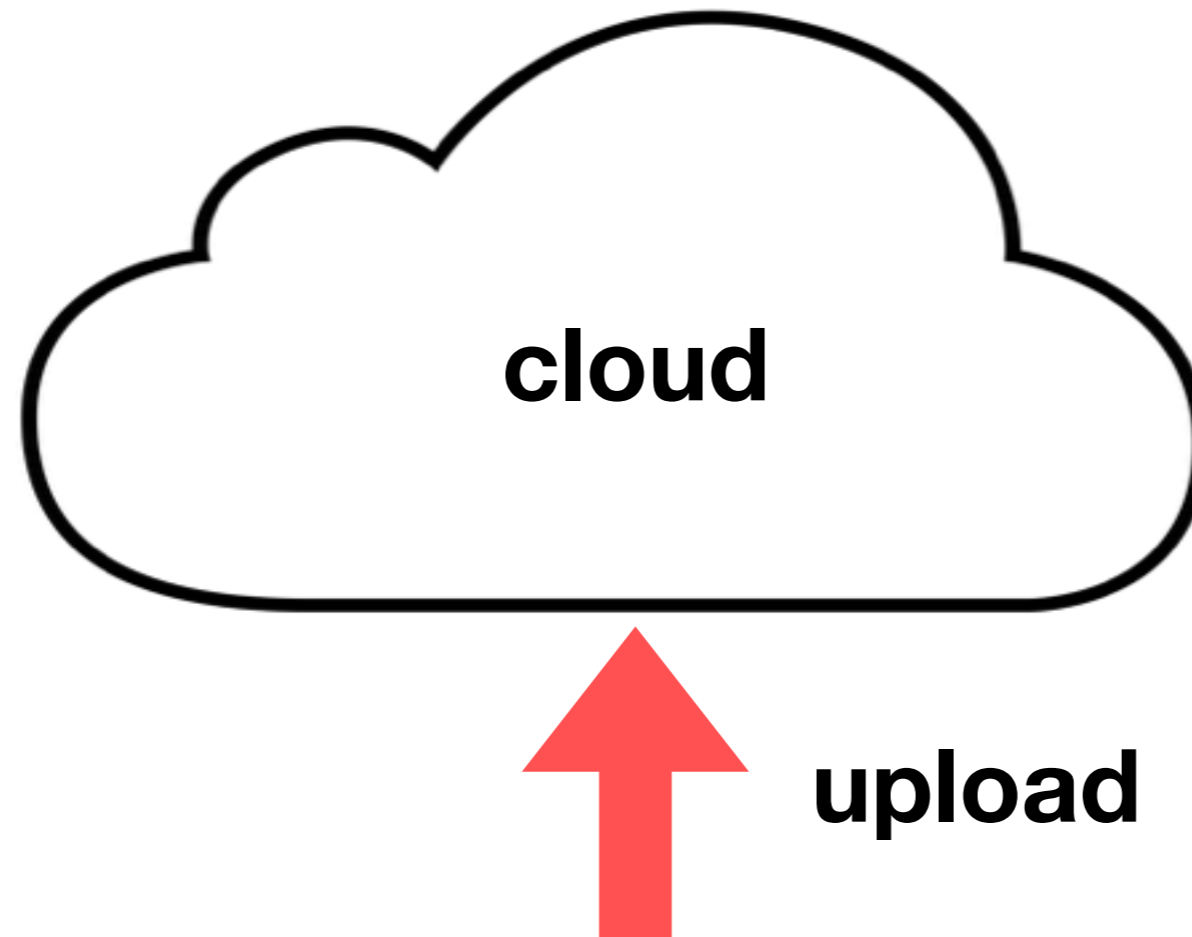
**クラウドサービスと私的複製**

**私的複製と補償金**

# クラウドロッカーサービスの4類型



# クラウドサービスに関する論点(1)……いわゆるカラオケ法理的な視点



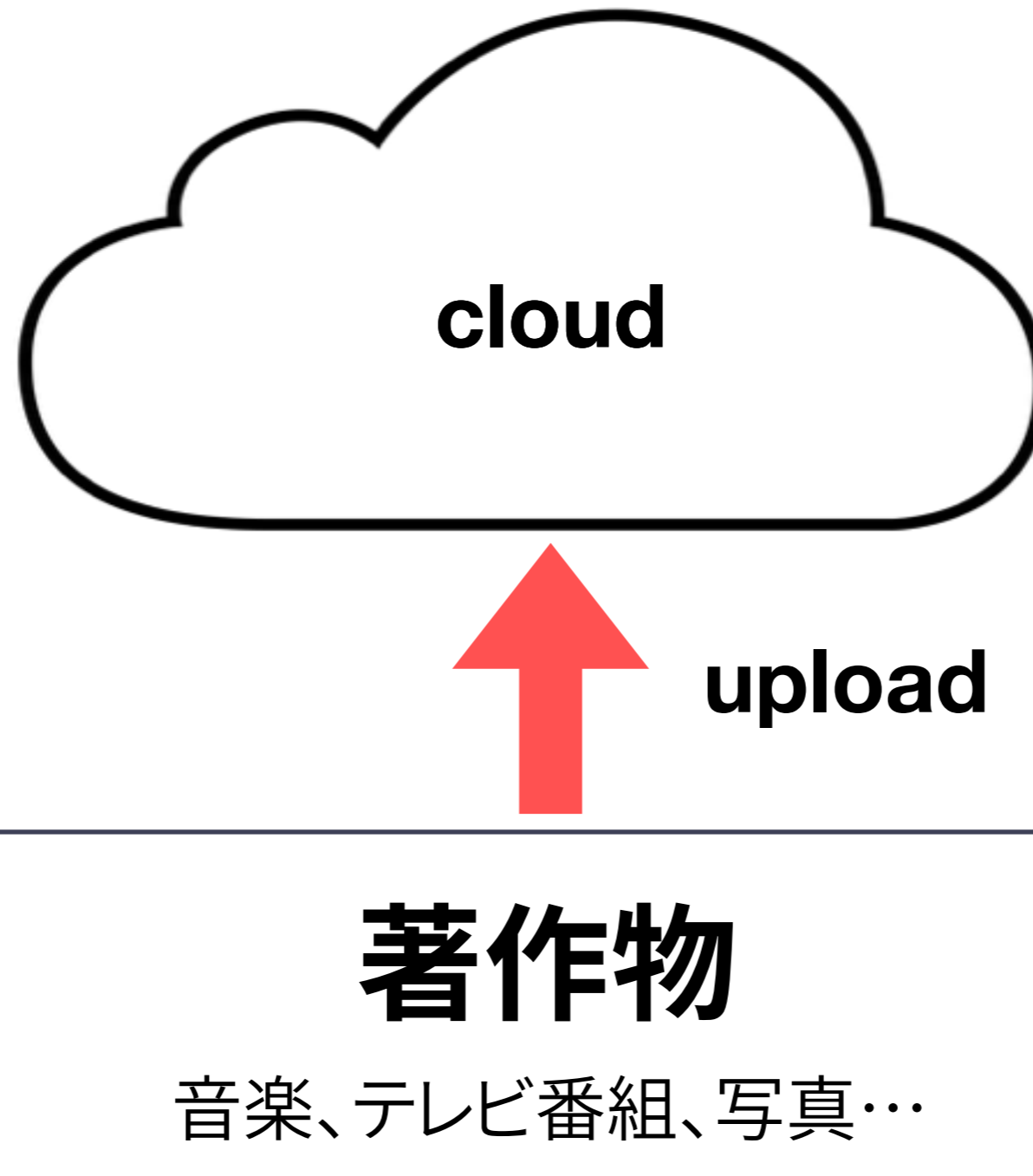
**著作物**

音楽、テレビ番組、写真…

**アップロードするのはユーザー？クラウド業者？**

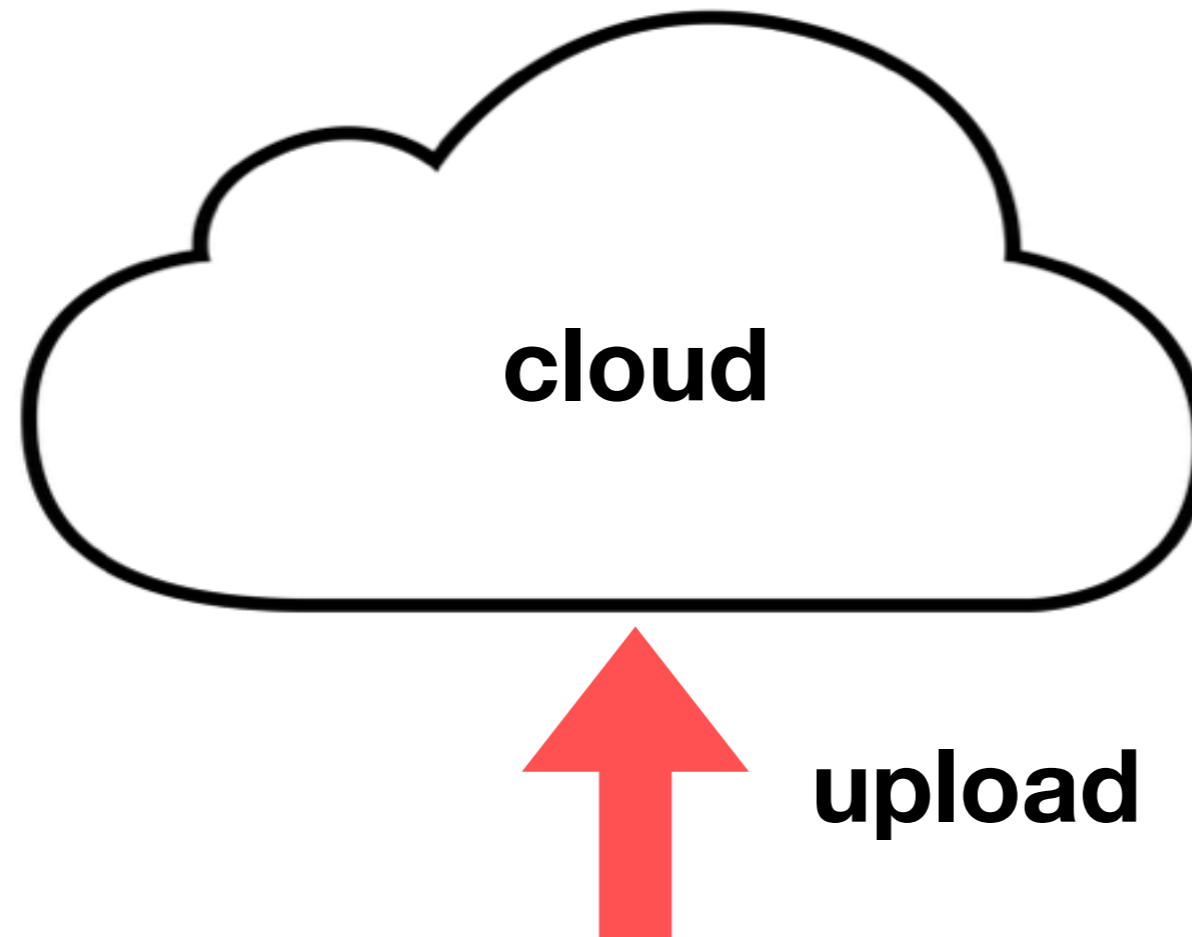


## クラウドサービスに関する論点(2)……私的複製をめぐる視点



**これは私的複製か？権利者の許諾は必要か？**

## クラウドサービスに関する論点(3)……私的複製補償金をめぐる視点



**権利者に補償金は必要？**

## クラウドロッカーサービスにおける議論のコンセンサス

- Type2型 (Dropbox) に関しては複製の主体はユーザーであり、著作権法第30条で処理する
- Type2型以外のクラウドロッカーサービスは「発展的なクラウドサービス」とし、契約を基本とする
- 音楽権利者は権利処理の集中管理機構を設立し、事業者や利用者が契約しやすい環境を作り上げる、と提案
- クリエーターへの対価還元に関する議論についてはこのあとの議題となるだろう

これを去年一年やって結論が出なかった

## 政令指定されるべき対象機器

テレビ録画可能なハードディスク録画機、外付けハードディスク、テレビチューナー付きPCなどは、政令により補償金対象として早急に指定されるべきである。

### 補償金対象



# 新たな制度創設に係る提言

- (1) 対象は私的複製に供される複製機能とする  
機器、媒体、サービスの別を問わず、私的複製に供される複製機能を対象とする。
- (2) 支払い義務者は複製機能を提供する事業者とする  
私的複製に供される複製機能を構成する機器、媒体、サービス等の手段を利用者に提供する事業者を支払い義務者とする。

## クリエイターへの適切な対価還元についての論点

- **クラウドサービスを代表とした私的複製には補償が必要か？**
  - 小売価格に私的複製は考慮 (pricing in) されているか
  - そもそも私的複製は今後拡大するのか？(subscriptionの拡大)
- **補償が必要とあればどのような形で行うのが望ましいのか**
  - 政令指定機器の拡大
    - 映画関係者はテレビ映画の録画を問題視
  - 「複製機器」ではなく、「複製行為」を対象にする
  - 支払義務者を消費者ではなく事業者に変更
    - 従来の私的録音・録画補償金制度は消費者だった

例えば

**foltia ANIME LOCKER 4.5**  
[unlimited movie works]

**Amazon Cloud Drive**  
**完全統合**  
-ついに人類は無限の彼方へ-

9月発売予定  
既存ユーザー  
アップグレード無料

Amazon



**Unlimited Everything**

Securely store all of your photos, videos, files  
and documents for just \$59.99 per year.

When you sign up you will download the  
desktop app to easily upload all of your content.

Try it free for 3 months

誰が支払義務者? Amazon? foltia? ユーザー?

どのような補償のあり方が正しいかを考える

補償の必要があるかを考える

配信事業者・権利者を呼んでの現状の把握



# 権利制限の一般規定

# 文化庁における著作権法制に関する議論のプラットフォーム

文化審議会

内閣官房 知的財産推進本部

著作権分科会

法制・基本問題小委員会

新たな時代のニーズに的確に対応した  
制度等の整備に関するワーキングチーム

国際小委員会

著作物等の適切な保護と利用・流通に関する小委員会  
(通称「クラウド小委員会 保護利用小委員会」)

## 知財戦略本部 次世代知財システム検討委員会 報告書によれば……

- **柔軟な権利制限規定について早期の法改正をはかる**
  - TPP協定批准を見据えた権利強化に対するバランス
  - 柔軟な規定を入れること自体にはポジティブ
- **「柔軟」とはどうあるべきか？**
  - 米国型の4要件 (Transformativeであるか否か)
    - 英国型フェアディーリング (公正であることを重視) も考慮
  - 「日本型フェアユース」で消されたC類型
    - 著作物を「享受しない」利用
  - 受け皿規定 (現状の個別規定に「類する」とするものを救う)

## 知財戦略本部 次世代知財システム検討委員会 報告書によれば……

- 柔軟な権利制限規定について早期の法改正をはかる

- TPP協定批准を見据えた権利強化に対するバランス

- 柔軟な規定を入れること自体は

- 「柔軟」とい

**独自に自民党の知財戦略調査会も  
議員立法を目指して議論中**

（公正であることを重視）も考慮

「フェアユース」で消されたC類型

- 著作物を「享受しない」利用

- 受け皿規定（現状の個別規定に「類する」とするものを救う）

# リーチサイトテイクダウン 著作権侵害サイトのブロッキング

# 文化庁における著作権法制に関する議論のプラットフォーム

文化審議会

内閣官房 知的財産推進本部

著作権分科会

法制・基本問題小委員会

新たな時代のニーズに的確に対応した  
制度等の整備に関するワーキングチーム

国際小委員会

著作物等の適切な保護と利用・流通に関する小委員会  
(通称「クラウド小委員会 保護利用小委員会」)

## 現状正直あまり議論は進んでいない

- **「次世代知財システム報告書」には掲載されている**
  - リーチサイトテイクダウンは以前の文化庁の審議会でも継続審議となり、一部権利者からもネガティブな意見が表明されている
  - ブロッキングは委員の中でもネガティブな意見が出ている
- **インターネットガバナンスとも大きく関連する分野**
  - 世界では40カ国が導入
    - しかしそのあり方は千差万別
  - 米国でのAnti SOPA/PIPA運動
  - テイクダウン、ブロッキングは「著作権だけ」の議論ではない(ですよね?)

**クラウドサービスと私的複製**

**私的複製と補償金**

**権利制限の一般規定(フェアユース)**

**リーチサイトテイクダウン**

**著作権侵害サイトのブロッキング**

**ぜひIGCJでも議論したい!**



## 本筋に関係ない宣伝とお願い

- **MIAUは今年で創立9周年を迎えます**
  - 「**日本で液体民主主義、そして海賊党は可能か?**」
    - 8/24(水) 19:00~ @SmartNews Office (渋谷)
    - Julia Reda (欧州海賊党議員)、鈴木寛、鈴木健、吉田徹、津田大介
  - 「**欧州の事例から考える著作権の未来**」
    - 8/25(木) 15:00~ @アンスティチュ・フランセ東京 (飯田橋)
    - Julia Reda (欧州海賊党議員)、世古和博、上野達弘、長塚真琴、香月啓佑
- **カメラ画像利活用SWGの委員になりました**
  - IoT推進コンソーシアム データ流通促進WGの下
  - 興味がある方がいればいろいろとご意見を聞かせてください